2017年11月改訂　（第３版）（新記載要領に基づく改訂）
＊ 2012年05月改訂　（第２版）
製造販売届出番号　20B1X00005000027

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器　単回使用インライン逆流防止バルブ　34099001

チェックバルブ ＰＰ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

＜使用方法＞

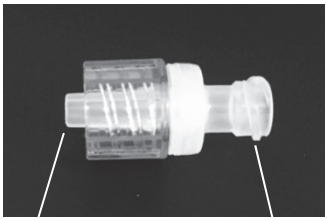
1)　血液回路に使用しないこと。
［弁機能が作動しなくなる恐れがある。］

2)　造影剤等の高圧注入には使用しないこと。
［破損する恐れがある。］

【形状・構造及び原理等】

本品は内部に弁を有し、オステーパー側からの液体の流入を防止する。

＜構造図（代表図）＞



オステーパー部　　メステーパー部

1)　本体：ポリプロピレン

2)　逆止弁：シリコーンゴム

【使用目的又は効果】

液体の逆流を防止するため、医用チューブに用いる器具である。本品は単回使用である。

【使用方法等】

延長チューブやカテーテル等のメスルアーコネクターに接続する。本品のメスルアーテーパー部にはオスルアーコネクターを有する回路等を接続する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1)　使用の際は、汚染に十分注意すること。

2)　テーパー部に薬液を付着させないこと。
［嵌合部に緩み等が生じる可能性がある。］

3)　逆血により弁部に血液が触れた場合には使用を中止し、新しい製品に交換すること。
［弁機能が作動しなくなる恐れがある。］

4)　高粘度の薬液を使用する場合は、逆流防止機能を充分に発揮しないことがある。

5)　テーパー部に薬液等が付着した状態で、締め付け及び増し締めを行わないこと。
［通常より深くテーパーに入り込むことで、コネクターの変形、破損を引き起こし、接合部からの薬液の漏れ、空気混入の原因となる。］

6)　使用中は本品の破損、接合部のゆるみ及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。なお、締め過ぎに注意すること。
［必要以上の過大な力で締め付けると、ひび割れが生じて、薬液が漏れる可能性がある。］

7)　ロックリング付の本品とポリ塩化ビニル製のメスコネクターを接続する場合は、締め付けに注意すること。
［外れなくなる可能性がある。］

＊ 8)　薬液注入ラインに組み込む際は、前後に三方活栓等を直接接続しないこと。
［本品が支点となり応力が加わると、破損する恐れがある。］

＊ 9)　ベッドサイドやベット上に薬液注入ラインを配置する際は、周囲のものに引っかけたり、患者の肘や膝等の下敷きにならないよう注意すること。
［破損する恐れがある。］

【使用上の注意】

＜不具合・有害事象＞

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

1)　その他の不具合
①　本品の変形・破損
②　液漏れ
③　逆流

2)　重大な有害事象
①　感染

3)　その他の有害事象
①　アレルギー反応

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

＜有効期間＞

箱に記載している使用期限を参照のこと。（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

株式会社八光

TEL 026-275-0121

＜製造業者＞

株式会社八光

販売窓口：
東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500